

年末・年始号である。しかし、結局、新春に発行だ。最初から新春号にしとけばよかったのである。年始と書いてあるところが、年末発行は無理というのが見え見えだ。ほっといてんか。書く方の身になってくれたまえ。暮珠江さんの話しをしているのではないぞ。「かしスポ」の週刊化要望が強く出され、嬉しくもあるのだが、アイデアが既に枯渇してきた現状では、身も瘦せる思いで作成するしかないワシは、身は瘦せず重いのであった。

平成十六年男子ソフト流行語大賞発表！

栄えある大賞は？

「ちょー待ってえーや!!」に決定！

寸評

昨年の男子ソフト流行語大賞は「ちょー待ってえーや！」に決定した。

この言葉は、山下、八木の二人が口癖のように連発した。何か言うと、必ずこれが返ってくる。漫才の「ねんでやねん」のツッコミと同義語か？この二人は同級生なので、この年代で口癖になるような事件があったのか、今後の究明が待たれるところである。もっとも、山口百恵から「ちょっと待って」と言われたらプレイバックするが、君らに言われても待ってあげないのである。

ベスト3は別表のとおり。 2位 「打たせてエエから」

大賞

「ちょー待ってえーや」

2位

「打たせてエエから」

3位

蒔蓄 (うんちく)

番外

「かしスポ」

惜しくも、2位に甘んじたのは、最近のここ数試合で、内野から一球ごとに発せられていた「打たせてエエから」である。使用頻度はダントツも、同じような意味で「打たせろ」「入れていけ」も使用されており、票が分かれてしまったせいかな？ただし、本当に、まともに打たれると、「何投げとんねん」と矛盾した内容の発言もあった。

3位 「蒔蓄」

うんちくたれるのはマロ・ハシモトである。そして、ウンチたれるのは、ニシオである。まあ、ウンとタレで韻を踏んでみるために、ここに持ってきたみたいなものである。西尾さんゴメン。

番外に「かしスポ」である。

終盤に来て大きく盛り上がりを見せた。もっと発行が早ければ大賞も狙えたかも？

ただし、発行が早ければ、ネタ切れ廃刊に追い込まれていた可能性が高い。

以上、流行語大賞選定委員会でした

柏里小学校近辺の飲食店口コミ情報

ミシュラン覆面調査員による柏里小学校近辺の飲食店ランキングが発表された。って、ウソである。ワシは、人にお勧めできるほど、口は肥えていない。肥えとるのは身体である。てな訳で、小学校の近辺で行ったことある店のリストだ。飲食店といいながら、ほとんどは飲み会の場と化している。順不同だ。あえて言うなら、ワシが思い出した順だ。

野里食堂：チェーン店だ。野里に在るから野里食堂だ。そしたら、喜連瓜破やったら喜連瓜破食堂か、言いにくいぞ。南森町のんは、南森食堂だったので、別の名づけ方をするかもしれない。ややこしいところには出店しないのか。店の雰囲気は、明るい一膳飯屋である。

最近の練習後のお決まりコースであった。何と言っても安くつくのが魅力だ。行きだした当初は、次から次におかずの皿を取るの、たぶん、伝票の付け忘れがあったのかもしれない。最近目は付けられたのか、チェックが厳しいのでモレは無い。

お勧めは、「藤本スペシャル」「植村スペシャル」だ。といっても、メニューには無いけどね。植村スペシャルは、肉うどんに油アゲと天婦羅と玉子を乗せるというものだ。さすがだ。ここでも社長の面目を躍如ってる。藤本スペシャルは、植村～のネギ抜きだ。ネギ抜いた分肉多めという要求は却下され、単に植村さんのにネギ多く入れられていただけであった。わしは、生卵が嫌いなので、きつねうどんに肉と、髪の毛のためにワカメを入れるのである。ベースがきつねうどんというところが役員との格差である。

さと：これまたチェーン店だ。「すし半」のほうだ。何故すし半と言うのかは知らない。居酒屋メニュー中心のすし屋なんで、半分すし屋と思っていたのは、私だけ？是非とも西尾さんに確認したいものである。

チェーン店は安くつく。焼酎派の多い時はボトルで頼めるから非常に割安である。

ここでも、山下は難癖をつけていた。こう書くと、「ちょー待ってえーや」と言われそうだが、頼んだ「鳥の唐揚げ」が出てこなかったの、「年取ったおばちゃんにちゃんと頼んでたでー」と文句をいっていたが、この年取ったおばちゃんは実は店長である。結局鳥唐食べられなかった山下は帰りにケンタッキーフライドチキンに寄っていたという情報が寄せられている。

七 塚本駅からまっすぐ出たところにあるイタリア料理のダイニング・バーである。おすすめは、「えびぶり」であるが、正式メニュー名は知らない。藤本がそう言っていた。もっとおすすめは、「沖地由美子」だ。有名人の誰かに似ていると評判だが、マスターの嫁である。人の嫁が誰に似てようが関係ないのである。本当に関係ないといえるのか？ゆずの「栄光の架橋」がかかるときに思い出し笑いをするのは誰だ？

七と書いて、「なな」とよむが、「セブン」というと別の店である。

七福 最近行っていない。

ライフの前のお好み屋 最近行きだした。

八木酒店が納入している。販売促進に協力しているのである。男子ソフト部に入部して仕事しないと評判を聞くが、大間違いである。

今回はこれまで。次は無いかも？情報あれば、編集委員まで。

一人で、色々な役こなすのは大変だ。

年末・年始特別号

決意も新たに！

OB・現役交流深まる

年頭キャンプ実施

単なる旅行や！

懲りた来年も開催

エーもうええで

1月15・16日に柏里小学校男子ソフトOB・現役による、旅行が開催された。案の定というか、とんでもない旅行になった。



柏
ス
ポ
ル
ト

今年度、今ひとつどころか、ふたつもみつつも波に乗れない我が柏小男子ソフトボール部は、調子が悪いときに行なう常套手段である、飲んでいやな事を忘れるという作戦に出た。参加者は、柏原・木村・近藤・橋本・藤本・西尾・花本・植村・稲嶋・八木・川久保の総勢11名であった。先輩方の的確なアドバイスをいただこうとOBの参加をいただき、新年を迎えたことを機に、残る今年度のブロック戦や来シーズンに向けた、戦うチーム作りの再認識を目標として開催されたのであった。しかし、ソフトボール部としての話題は集合時点からさらさら無く、酔っ払い大ひんしゅくツアーとなったのであった。これでは、部の存続すら危ぶまれるところである。

ひんしゅくの事例

その1：「旅行先は、鳥羽？それとも賭場？」

行きの近鉄特急が鶴橋駅を出発した瞬間から、サイコロが転がり、カブ札・トランプが乱舞していた。それも大阪帰るまでだ。いかにソフトボールも勝負事とは言え、このようなことをしても勝負に勝てるものではない！と強く言うておくのである。あっ、別にワシが負けたから、言っているのではないぞ。

その2：「八木、もっと早よ走れ」

13：00塚本駅集合だが、誰かが遅れるのではと危惧されていたが遅れず、全員集合したのはさすがに大人の集団である。重役出勤するおそれのあった社長が今回最初から仕事で遅れることになっていたのも一因であるって言う冗談はさておき、危なかったのは、八木である。13時直前に駅に向かってダッシュ？していた姿を、マクドナルドにいた今回参加者の家族から目撃されていた。その5分前までマクドにいたのをバレー部の人に目撃されたのは、はい、私です。

その3：「予言？」

裏表紙の流行語大賞のコーナーは、昨年の内に作成したものである。「ウンチク」を第3位に位置付けたのは、単に語呂合わせをしたかっただけで、今回旅行での出来事があったから書いたというのではない。しかしやってくれました。久々に腹抱えて笑かしてもらいました。

それに、もう一人！悪乗りしたらアカンがな。えっ、何があったかて？それは言えんな。

その4：「何故？鳥羽旅行に行ったのに『三田屋』で昼食」

最終日の昼食は野田阪神にある三田牛のステーキで有名な「三田屋」だ。海産物豊富な伊勢志摩方面に旅行に行き、肉を食べるなら松阪が近くにあるというのにである。もっとも、うちのメンバーでは、キチンと計画立てても、そのとおりにいかないのが、行き当たりバッタリにせざるを得ないというのが真相である。